



令和4年度

神谷だより

< 12月号 >

令和4年12月 1日
北区立神谷小学校
校長 星野 典子

教育目標：すこやか・まなび・おもいやり

神谷のまち大研究

副校長 岡庭 智恵

小雪も過ぎ、日増しに寒くなってきましたが、子供たちは縄跳びやボール遊び、鬼ごっこ等、元気に体を動かして過ごしています。

さて、現在、3年生は総合的な学習の時間「神谷のまち大研究」の学習で、1組は神谷の歴史、2組は神谷のイベント、3組は神谷を支える人たちについて調べています。その取組の中で印象に残っていることを紹介します。

この学習では、まず、神谷のまちを調べるにはどうしたらよいか、子供たちが考えます。神谷の歴史やイベントについてインターネットで調べても詳細は載っていないことが多く、子供たちは地域の方にインタビューをすることを思いつきました。そこで、誰にインタビューしたらよいかを担任の先生と相談し、柏木神社の神主さんや町会長の方、地域振興室の所長さん等に決めました。私が驚いたのは、インタビューのためのアポイントメントを、子供たち自身が取っていたことです。もちろん、子供がアポイントメントを取った後、担任が先方に連絡し、学習の趣旨やインタビューの内容についてお伝えはしているのですが、小学生の内にアポイントメントを取る経験はなかなかできません。これには、インタビューを依頼された方々も大変驚かされていたと同時に、子供たちの電話口での話し方や言葉遣いについて感心して下さっていました。

私が実際に授業を見たのは、3年2組の「インタビューして聞いた内容を整理する場面」だったのですが、4人グループで思考ツールを使って話し合いを進める子供たちの姿から、日々の学習を通して協働する力が育っていることを感じました。この学習のゴールは、これらの活動を通して知ったことを基に、自分たちにできることを考えて発信していくことです。

今の子供たちが今後迎える予測困難な時代では、他者と協働して課題を解決していく力や、様々な情報を見極め、確かな知識として理解し、情報を再構築して新たな価値に繋げていく力が求められています。3年生の取組を例に挙げましたが、学校教育を通じて、これらの力を育成できるように引き続き取り組んでまいります。

12月の予定



日	曜	朝	行 事 予 定
12/1	木	な	委員会活動
2	金	読	水曜時程 個別懇談③
3	土		
4	日		
5	月	全	水曜時程 個別懇談④ 安全指導
6	火	読	水曜時程 個別懇談⑤
7	水	読	4時間授業
8	木	な	誕生日給食
9	金	読	ジュニアランド準備
10	土		土曜授業 ジュニアランド(公開なし)
11	日		
12	月	全	4時間授業(校内研究授業のため)
13	火	読	
14	水	読	
15	木	音	クラブ活動
16	金	読	あいさつ週間終
17	土		
18	日		
19	月	全	水曜時程
20	火	読	巡回おうじ終
21	水	読	
22	木	集	給食終
23	金	全	4時間授業
24	土		
25	日		
26	月		冬季休業日始
27	火		学校閉庁日
28	水		学校閉庁日
29	木		
30	金		
31	土		
1/1	日		元日
2	月		振替休日
3	火		
4	水		学校閉庁日
5	木		学校閉庁日
6	金		
7	土		冬季休業日終
8	日		
9	月		成人の日
10	火	読	給食始 巡回おうじ始

※12月10日(土)の土曜授業(ジュニアランド)ですが、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、公開は中止といたしますので、ご了承ください。

あいさつ週間

今年度、2回目の「あいさつ週間」を11月28日（月）～12月16日（金）までの期間実施します。

初日、6年生の代表児童が、全校朝会の場で、あいさつの大切さについて紹介しました。6年生は、11月に「和の心」としてあいさつや礼儀について学習しました。そこで学んだことを下級生に具体例を挙げて紹介しました。

今回は、1年生もあいさつ当番として門の入口に立ちます。コロナ禍ではおはようございます!!感染予防に努めながら、全員、「あいさつの輪」を広げたいと思います。



生活指導部 若林 寿弥

校外学習



11月8日、1・2年生で清水坂公園へ校外学習に行ってきました。

気持ちの良い秋晴れの下、なかよし班でだるまさんがころんだやおにごっこをして交流を深めることができました。1年生はピオトープ見学に参加し、珍しい植物や生き物をスタッフの方に説明してもらいながら学ぶこともできました。

たくさん落ちている紅葉した葉っぱやどんぐりも拾い、存分に秋を楽しんだ子供たち。1年生はこのおみやげを活用し、生活科の学習で、おもちゃを作って楽しんでいます。

1年担任 柏原 美和子

SF 防災・減災教育

4年生は、11月15日（火）に稲田小学校に行き、防災・減災教育の体験授業を受けてきました。

降雨体験車では、カップを身に付けて、1時間に300mmもの雨を実際に体験しました。あまりの雨の量に、子供たちも驚き、興奮した様子でした。

自然災害体験では、3D眼鏡を着けて津波や土砂崩れが起きる様子を疑似体験しました。飛び出す映像や画面に合わせて動く椅子に驚きながら、災害の怖さを改めて感じていました。

その他、ハザードマップやAEDについて教えてもらったり、起震車体験をしたりと、たくさんのお話を学ぶことができました。今回の経験を生かし、普段から災害に備えた準備や行動がとれるようになってほしいです。

4年担任 林 峰寛

玉川食品 リモート授業

3年生は、社会「ものをつくる仕事とわたしたちの暮らし」の学習で麺について学習しています。

11月2日（水）には、学校給食の麺を作り、北区や他区に運搬・提供している「玉川食品」の関根社長に麺作りの工夫についてリモートでお話を伺いました。

工場内についてご案内していただき、麺作りの機械を詳しく説明していただきました。最後の質問コーナーでは、一つ一つの作業にこだわりが詰まっていることや、温度管理の調整等、新鮮で美味しい麺を提供するための様々な工夫を知ることができ、子供たちにとって貴重な機会となりました。

今後、玉川食品の麺が給食に出た際は、今回の貴重なお話を思い出し、「感謝の気持ちをもって味わって食べたい。」という声子供たちの中から聞こえてきました。

今回お話をさせていただいた関根社長をはじめ玉川食品の方々への感謝の気持ちを忘れずに、今後も意欲的に学習に取り組んで欲しいです。

3年担任 金子 幹

以上の内容についての一部は、ホームページにも掲載しました。ご覧ください。